

眞宗総合研究所東京分室 公開研究会 「赤ちゃんを失う悲しみと向き合う—医療・宗教・社会—」

大谷大学眞宗総合研究所東京分室（所在：東京都文京区湯島）は、本研究所の設置目的にもとづき、本学が社会に対して責任を有する研究分野において、若手研究者に研究機会と環境を提供しています。「現代と自分がどうかかわるか」「現代で自分はどうか生きていくか」を根幹とした研究テーマを持ち、ともすると専門分野の研究者にしか通じない言葉で語られがちな研究成果を、一般の方々に理解される言葉で語ることで次代の研究者の育成をはかっています。

眞宗総合研究所東京分室では、室長及びPD研究員による「宗教と社会の関係をめぐる総合的研究—現代社会における宗教と共生—」をテーマとした共同研究を行っています。本研究は、人類にとって根本的な問いであり続ける、「どう生きるのか?」「どう死ぬのか?」という問題を主軸とし、宗教というフィルターを通して、社会に存在する、もしくは存在した様々な価値観の構造を明らかにすることを目指しており、当該研究の活動の一環として、この度公開研究会を開催することといたしました。

■公開研究会概要■

戦後日本において、出産の場所は徐々に自宅から病院に移行しはじめた。家と地域共同体によって支えられていた自宅出産の時代と違い、1960年代以降、病院や診療所といった施設での出産が中心になり、医学が習俗や儀礼に取って代わって妊娠・出産の場で主導権を握るようになってきた。妊娠・出産は医学によってより安全なものとしてきた一方、必ずしも思い描いていたような妊娠や出産ができるわけではない。高い安全性が期待されるがゆえに、その期待が裏切られたときの喪失感は大きなものとなる。中でも周産期喪失と総称される流産、死産、人工妊娠中絶、新生児死亡などを含む妊娠・出産にまつわる喪失体験への対処と支援の必要性が認識されてきている。日本においては2000年代から、地域で周産期喪失経験者へのサポートグループが成立しはじめ、周産期喪失経験者である母親や家族、医療従事者へのグリーフケアも注目されるようになってきた。

本研究会では、現代日本における胎児の生命観の変遷から出発し、周産期喪失に対するグリーフケアの取り組みについての理解を深めることを目的とする。前近代における習俗や儀礼に支えられてきた領域から現代の医学を主とする領域に妊娠・出産の場が変化することに伴い、「宗教」の役割もまた変容している。妊娠・出産の場で活動する医療従事者、宗教的ケアを提供するチャプレン、サポートグループとの議論を通して、悲しみとの向き合い方を考えていく。

本研究会につきまして、取材のご希望がございましたら、本学入学センターにご連絡いただきますようお願い申し上げます。電話番号：075-411-8114 E-mail：nyushi-c@sec.otani.ac.jp

開催概要

開催日時：2024年3月10日（日）13：30～16：40

場所：対面・オンライン(zoom)のハイブリッドにて開催

（会場）御茶ノ水トライエッジカンファレンス

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台4-2-5 御茶ノ水NKビル11階

※対面・オンラインのいずれも参加申し込みが必要

申込フォーム <https://forms.gle/mXbVtT1hkyks34RQ9>

登壇者：陳 宣聿（大谷大学眞宗総合研究所東京分室PD研究員）

岩井 未来（龍谷大学大学院実践眞宗学研究科教授／石井記念愛染園附属愛染橋病院チャプレン）

蛭田 明子（湘南鎌倉医療大学看護学部看護学科教授／聖路加国際大学PCC事業天使の保護者ルカの会スタッフ）

MC/モデレーター：白井 千晶（静岡大学人文社会学部社会学科教授）

■研究意義・目的

この数年、人類が経験している新型コロナウイルス感染症の世界的流行は、現代日本社会の私たちの心や身体、生活スタイルにも、大きな影響を与えています。あまつさえ多様な価値観を内包する現代社会において、様々な変化を強いられているなか、宗教のあり方もまた問われています。当然ながら、現代社会において、宗教が果たすべき役割やその可能性をより多角的な視点から見直すべきとの声も強まっています。そこで本研究は、宗教と社会との多種多様な関わり合いが見られる現代の東京・首都圏という場において、専門性を異にする研究員たちが各自のディシプリンに基づく独自の視点から、社会における宗教の役割を問い直すことを目的としています。

■研究期間を通しての目標・成果

人類にとって根本的な問いであり続ける、「どう生きるのか?」「どう死ぬのか?」という問題を主軸とし、宗教というフィルターを通して、社会に存在する、もしくは存在した様々な価値観の構造を明らかにすることを目指します。具体的なテーマとしては、生命倫理、道徳、性差、人権、秩序、死生観、メディア、政教分離、優生思想、多文化共生などを取り上げ、宗教との関係性を考察します。各年度に上記テーマに関連した研究会を開催することで当該問題に関する理解を深めるとともに、シンポジウムや研究会を開催して広く研究成果を大学の内外に向けて発信します。本年度は、サブテーマ「現代社会における宗教と共生」を設定し、「共生」を鍵概念に、私たちと宗教の多様な関係のあり方について考察し、宗教の役割を解明していきます。

東京分室長・PD研究員紹介

東京分室長 福島 栄寿 (文学部 教授)

大谷大学真宗総合研究所東京分室 (所在: 東京都文京区湯島) は、その設置目的に基づき、本学が社会に対して責任を有する研究分野において、若手研究者に研究機会と環境を提供しています。「現代と自分がどうかかわるか」「現代で自分はどうか生きていくか」を根幹とした研究テーマを持ち、ともすると専門分野の研究者にしか通じない言葉で語られがちな研究成果を、一般の方々に理解される言葉で語ることで次代の研究者の育成をはかっています。その取組の一環として、毎年度PD研究員が主体となり、シンポジウムを企画し、研究活動の一端を広く公開しています。2023年度第二回目は、「赤ちゃんを失う悲しみと向き合う—医療・宗教・社会—」をテーマとして開催します。概要は、別紙の通りです。

妊娠・出産は、新しい生命をこの世にもたらすと同時に、流産・死産など死と隣り合わせの一面がある。本研究会では、胎児の生命観の変遷を踏まえつつ現代日本における胎児の生命観に着目し、産期喪失に対するグリーフケアへの理解を深めたい。妊娠・出産の場が医学を主とする領域へと変化した現代では、「宗教」の役割もまた変容している。医療従事者、宗教的ケアを提供するチャプレン、サポートグループとの議論を通して悲しみとの向き合い方を考えたい。多くの皆さんの来場、聴講をお待ちしています。

■経歴: 1965年京都市生まれ。大谷高校 (京都) 卒業後、山口大学人文学部へ進学。同人文科学研究科修士課程 (地域文化専攻) 修了後、大谷大学大学院文学研究科博士後期課程 (仏教文化専攻) へ進学、1995年単位取得退学。博士 (文学)。非常勤講師として京都光華女子中・高校、大谷大学、千葉大学、立命館大学、北海学園大学大学院、九州大学大学院、大谷専修学院などで教える。1996年より京都光華女子大学真宗文化研究所職員、2001年より真宗大谷派教学研究科研究員、2007年より札幌大谷大学准教授を経て、2011年より大谷大学准教授、2017年より現職。真宗総合研究所東京分室長 2022年4月～

<PD研究員>

磯部 美紀 (PD研究員・社会学)
澤崎 瑞央 (PD研究員・仏教学)
陳 宣聿 (PD研究員・宗教学)
鶴留 正智 (PD研究員・真宗学)



大谷大学について

大谷大学は、1665 (寛文5) 年の江戸時代、京都・東六条に創設された東本願寺の学寮をその前身としています。その後、いくたびかの変遷を経て、1901 (明治34) 年、近代的な大学として東京・巣鴨の地に開学。1913 (大正2) 年、現在の地に移転開設しました。

親鸞の仏教精神に基づき、「人材」ではなく「人物」の育成を目標とする学び「人間学」を教育・研究の根幹とし、広く一般社会へ開かれた大学として発展を続けています。2021 (令和3) 年には、近代化120周年を迎えました。



<本件に関する報道関係者の皆様からのお問合せ先>

大谷大学 入学センター (広報担当) 後藤・野路

TEL : 075-411-8114 E-mail: nyushi-c@sec.otani.ac.jp

眞宗総合研究所東京分室公開研究会 赤ちゃんを失う悲しみと向き合う —医療・宗教・社会—

趣旨説明

陳宣聿 (大谷大学眞宗総合研究所東京分室PD研究員)

発題1

岩井未来 (龍谷大学大学院実践眞宗学研究科教授
／石井記念愛染園附属愛染橋病院チャプレン)
「死産の家族と死児へのケア
—宗教的ケアとして数珠のプレゼント」

発題2

蛭田明子 (湘南鎌倉医療大学看護学部看護学科教授
／聖路加国際大学PCC事業天使の保護者ルカの会スタッフ)
「分かち合いの場で語られるご両親の想い」

コメント

白井千晶 (静岡大学人文社会科学部社会学科教授)

日時

2024年3月10日 (日) 13:30~16:40

会場

御茶ノ水トライエッジカンファレンス

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台4-2-5 御茶ノ水NKビル11階
(新御茶ノ水駅B2番出口徒歩2分／御茶ノ水駅聖橋口徒歩3分／小川町駅A5番出口徒歩5分)

ハイブリッド開催 (Zoom同時配信)

事前申込制 3月7日 (木) 締切

申込はこちら▷<https://forms.gle/mXbVtT1hkyks34RQ9>

参加
無料



【講師】
陳宣聿 中津川
岩井未来 聖橋口
蛭田明子 聖橋口
新藤孝一 聖橋口
白井千晶 聖橋口

【その他】
開会式 13:30
講演 13:45
質疑応答 14:15
閉会式 16:40

主催：大谷大学眞宗総合研究所東京分室 (〒113-0034 東京都文京区湯島2-19-11)
問合せ：kenkyusyo_t@sec.otani.ac.jp